

「酸化マグネシウム製剤内服症例における高マグネシウム血症のリスク 因子解析」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施される
ものです。

研究期間:2020年7月7日 ~ 2022年12月31日

〔研究課題〕

酸化マグネシウム製剤内服症例における高マグネシウム血症のリスク因子解析

〔研究目的〕

酸化マグネシウム製剤内服症例における高マグネシウム血症のリスク因子を解析し安全性とリスク因子を明らかにします。

〔研究意義〕

酸化マグネシウム製剤は、便秘診療において汎用されています。一方で、酸化マグネシウム製剤に伴う高マグネシウム血症での死亡例が報告され、適切な使用の注意喚起がなされています。しかし、実臨床での酸化マグネシウム製剤内服に伴う高マグネシウム血症のリスクは十分な知見が得られていません。当研究で高マグネシウム血症のリスク因子を解析し、安全な処方を目指します。

〔対象・研究方法〕

2015年4月から2020年3月までに当院で処方した酸化マグネシウム製剤内服者を対象とし、年齢、性別、併用便秘薬、腎機能、血中Mg値、高血圧、脂質異常症、糖尿病、精神・神経疾患、外科手術後、担癌状態などの基礎疾患、2カ月以上の酸化マグネシウム継続率の有無等を評価し酸化マグネシウム製剤の安全性、リスク因子を調査します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

〔その他〕

対象となる職員で、ご自身の情報の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

実施責任者： 綱島弘道（帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 助教）

研究責任者： 土井晋平（帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 准教授）

住所： 川崎市高津区二子 5-1-1 TEL: 044-844-3333(代表) [内線 3487]